土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一般県道　中大迫清田線　道路改良事業に伴う業務委託

事業名 または 工事名　令和3年度

調査目的及び調査対象　道路 構造物基礎

ボーリング名	Bor.No.3	**調査位置**	呉市倉橋町長谷			**北緯**	34° 09′ 3.72″
発注機関	広島県西部建設事務所呉支所			**調査期間**	2021年 12月 17日 ～ 2021年 12月 20日	**東経**	132° 31′ 37.00″
調査業者名		**主任技師**		**現場代理人**		**コア鑑定者**	**ボーリング責任者**
孔口標高	T.P. 13.08m	**角度**	180° 上 90° 下 0° 0°	**方位**	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 0°	**地盤勾配**	水平0° 鉛直 90° 0°
使用機種	**試錐機**	東邦地下工機 DO-D型					
総削孔長	7.00m	**エンジン**	ヤンマーNFD12	**ポンプ**	東邦地下工機 BG-3C		

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事	孔内水位／測定月日
	12.78	0.30		シルト混じり砂		黒茶				表土。 腐植土を含む砂質土を主体とする。	
1 2 3	9.28	3.80		礫混じり砂	砂質土	暗茶	rd3		新生代	盛土。 マサ土を主体とする。 全般的に礫を含むが分布は不規則である。 φmax=80mmの礫を含む。 φ5mm以下の礫を主体とする。 GL-2.80m以深、含水やや高い。	12/17 3.00 12.30
4 5 6 7	6.08	7.00		花崗岩	中硬岩	淡茶褐			白亜紀	黒雲母花崗岩。 全般的に変色し亀裂が発達するが硬質な花崗岩である。 コアは10cm～20cmの短柱状を主体とする。 コア肌は滑らかで、ハンマーによる軽打で金属音を発する。 GL-4.40m付近、アプライト含む。 GL-4.70m～-4.90m間及びGL-5.70m～-5.80m間、粘土シーム挟む。 GL-6.80m以深、やや亀裂が増加する。 岩級区分ではCH級に相当する。	

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
12	1.15	5	3	4	12/300		
	1.45						
6	2.15	2	2	2	6/300		
	2.45						
16	3.15	5	6	5	16/300		
	3.45	50/0			50/0		
	4.00						
	5.00	50/0			50/0		
	6.00	50/0			50/0		
	7.00	50/0			50/0		

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法
1.15	P-1	⊖
1.45		
2.15	P-2	⊖
2.45		
3.15	P-3	⊖
3.45		

室内試験　**原位置試験**

削孔月日　12/17